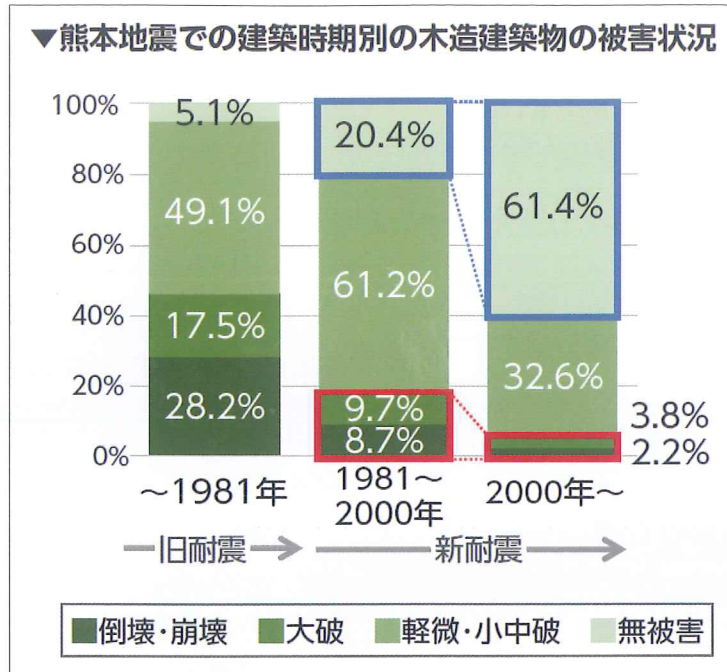


耐震基準と地震の被害

耐震基準の違いによる被害の状況



引用：東京都都市整備局HP/東京都耐震ポータルサイト/進めよう耐震化/木造住宅の耐震化より

1981年5月以前
旧耐震基準
倒壊～大破
4割以上

2000年5月以前
新耐震基準
倒壊～大破
約2割

2000年6月以降
新耐震基準
無被害
6割以上

木造住宅の2000年6月以降の新耐震基準の強化

①地盤に応じた基礎の設計

不同沈下を防ぐために地耐力に最適な基礎を作る

②接合部に金具取り付け

柱・梁・筋交いの接合部に金具を使ってしっかり固定

③偏りのない耐力壁の配置

耐力壁を偏りなくバランスよい配置に

最近の地震では、2024年（令和6年）4月17日の深夜に四国を震源とした最大震度6弱の「豊後水道地震」が発生しましたが、震源地は巨大地震といわれている南海トラフ地震の想定震源域内でした。

日本では近年、規模の大きな地震が繰り返し起きています。地震はいつ起こるかわかりません。

今後も地震の被害の分析が進み、耐震基準もより安全なものに強化されていくものと思います。耐震についてのあらたな動きに関心を持ち、最新の耐震基準を満たす安心な住まいで、地震に備えてください。

住まい何でも相談処